

## 事実確認:

# Appleの偽DMAコンプライアンス計画

2024年3月7日のデジタル市場法(以下「DMA」)が発効となり、AppleはDMAに準拠する意思はないという明確な意思表示を行う偽のコンプライアンス計画を発表しました。それでは、真のコンプライアンスが実際にどのようなものであるかを正確に確認してみましょう。

**DMAでは:** 開発者（デベロッパー）は低価格に関して、消費者（ユーザー）と直接コミュニケーションを取ることができなければならない

- **第5条(4):** 「ゲートキーパー（大手企業）は、ゲートキーパーのコアプラットフォームサービスをその目的で利用するかどうかに関わらず、ビジネスユーザーが、そのコアプラットフォームサービスまたはその他の方法で獲得したエンドユーザーに対して、さまざまな条件の特典を、無料で伝達および宣伝し、エンドユーザーと契約を締結することを許可するものとする。」

### Appleの提案で実際に行う内容: 緘口令を維持する

- デベロッパーは依然としてユーザーに、より良い、より安価な取引に関する内容を独自のアプリ内で伝達できない。デベロッパーはアプリの外でのみ価格情報を開示できる。
- Appleは以下のように述べています: 「お客様のウェブサイトでの購入に関する情報や、お客様のアプリケーションのアプリストアの製品ページのお客様ウェブサイトで購入リンクを配置してはならない。」(EUにおけるアプリ代替条件に関する補遺セクション3.3.C)。

**DMAでは:** デベロッパーはゲートキーパーオペレーティングシステムに「無料」でアクセスできなければならない

- **第6条(7):** 「ゲートキーパーは、コアプラットフォームサービスと共に提供される、またはコアプラットフォームサービスをサポートするビジネスユーザーおよび代替プロバイダーに、それらの機能がオペレーティングシステムの一部であるかどうかに関係なく、ゲートキーパーがサービスを提供する際に利用可能または使用する、同じオペレーティングシステム、ハードウェア、またはソフトウェア機能との有効な相互運用性、および相互運用性の目的でのアクセスを無料で許可するものとする。」

### Appleの提案で実際に行う内容: 代替マーケットプレイスに新しい手数料を導入

- Appleは、Appleアプリストア以外でダウンロードされたアプリごとに0.5ユーロを課す新しい「コアテクノロジー料金」(CTF)を導入。AppleがiOSへのアクセス以外に何も提供していない場合、デベロッパーに料金の支払いを強制することは違法であり、デベロッパーがAppleアプリストア以外の場所にアプリを配布することを妨げることになる。
- この規定は、Appleが独自のプラットフォームで競争するようにした場合に、平等な競争の場を確保することを目的として策定された。代わりに、Appleは自社のアプリやサービスをいつ、どこで提供するか(ブラウザ、アプリストア、音楽ストリーミングなどを含む)に関する不当なコストと技術的優位性を維持することになる。

## **DMAでは：**ユーザーとデベロッパーはアプリ内で購入する際に選択権を持つべきである

- **第5条(7):** 「ゲートキーパーは、そのゲートキーパーのコアプラットフォームサービスを使用してビジネスユーザーが提供するサービスに関連して、エンドユーザー、またはビジネスユーザーに、ゲートキーパーの識別サービス、ウェブブラウザエンジン、決済サービス、またはアプリ内購入の決済システムなどの決済サービスの提供をサポートする技術サービスの使用、提供、または連動を要求してはならない。」

## **Appleの提案で実際に行う内容:** デベロッパーが代替支払いソリューションを提供することを防止

- 代替の支払いオプションの提供を検討したいデベロッパーに、Appleは複数の手数料を課しているため、代替の支払いオプションを提供することは財政的に不可能になる。アプリのダウンロードごとに0.5ユーロの手数料がかかることに加え、デベロッパーはサードパーティの支払いオプションを使用したすべての購入に対して、最大17%の税金と3~6%の支払い処理手数料をAppleに支払わなければならない。
- Appleは自社独自の支払いシステムの代わりに、サードパーティの支払いオプションを使用することを困難にするほど、過度の警告や折衝を行っている。

## **DMAでは：**ユーザーはアプリをどこで入手するかを選択する権利を持つべきである

- **第6条(4):** ゲートキーパーは、オペレーティングシステムを使用する、またはそのシステムと連動するサードパーティのソフトウェアアプリケーションまたはソフトウェアアプリケーションストアのインストールと効果的な使用を許可し、技術的に有効にし、それらのソフトウェアアプリケーションまたはソフトウェアアプリケーションストアに、そのゲートキーパーの関連するコアプラットフォームサービス以外の手段でのアクセスを許可すべき。

## **Appleの提案で実際に行う内容:** アプリストア外での配布に過剰な料金や制限を課す

- Appleはユーザーがコンピューター上で行う場合と同様に、デベロッパーのウェブサイトからアプリを直接ダウンロードすることをブロックし続け、iOSデバイスで許可されるアプリストアに対して不当な制限を設けている。直接ダウンロードができなく、アプリストアもほぼないため、ユーザーはアプリをどこから入手するかを実際に選択することができない。
- 現在、手数料を支払わずにアプリストアを通じてアプリを配布しているアプリデベロッパー（全体の88%）は、代替マーケットプレイスを利用するには新しい規約にサインアップし、CTFに支払う必要がある。これには大きなインセンティブがあり、Facebook、WhatsApp、Uber、Amazonなどの非常に人気のあるアプリから代替市場を奪うことになる。
- Appleがデベロッパーに対し、Appleアプリストアの使用または他の配布方法の使用どちらかを継続させようとすることは、十分な代替配布手段を奪おうとする不当かつ反競争的な試みである。

**DMA**では：ゲートキーパーは公正、合理的かつ非差別的な態度で行動しなければなら

ない

- **第6条(12)**: 「ゲートキーパーは、第3条(9)に基づく指定決定にリストされているソフトウェアアプリケーションストア、オンライン検索エンジン、およびオンラインSNSへのビジネスユーザーのアクセスについて、公正、合理的、かつ非差別的な一般条件を適用するものとする。」

### **Appleの提案で実際に行う内容: DMAに違反する新しいオプション条件を提供**

- **Apple**は、同じアプリストアサービスを使用するアプリには根本的に異なる利用規約が適用されるというシステムを維持している。Appleは最大10~17%の手数料を課すが、これはAppleの裁量で、デジタル商品やサービスを販売するアプリにのみ適用される。ただし、Appleはアプリデベロッパーにアプリ内支払いの使用を強制しなくなったため、すべてのアプリはまったく同じアプリストアサービスを使用するため、同じ手数料が課される(または課されない)ようになるべき。